

産経新聞

2015年8月12日 主張

川内原発復活
稼働増やし国力再生を
首相は規制委の改革を急げ

2年近くもの「原発ゼロ」にようやく終止符が打たれた。

安倍晋三首相は、

原発再稼働の遅れが**成長戦略**の障害となっていることを強く認識すべきだ。

高い目標値を掲げた**二酸化炭素削減**の国際約束を守る上でも、安全性を高めた原発の活用が欠かせないことは自明であろう。

資源のない日本にとって

エネルギー安全保障の生命線である

核燃料サイクルを円滑に回すためにも原発再稼働の加速が必要だ。

読売新聞

2015年8月12日 社説

川内原発再稼働
電力安定供給へ重要な一歩だ

約2年も続いた原発稼働ゼロに、ようやく終止符が打たれた。

電力の安定供給は、国民生活と**経済発展**に欠かせない。
安価で安定した重要電源である原発の活用が前進した意義は大きい。

政府と関係自治体が連携して住民参加の訓練を重ね、

避難計画の実効性を高める必要がある。

輸入燃料への過度な依存は、

エネルギー安全保障の観点で問題が多い。

原発の活用を続けるには、使用済み核燃料を再利用する

核燃料サイクルや、

放射性廃棄物の最終処分地選定に政府が関与し、道筋をつけることも重要である。

日経新聞

2015年8月12日 社説

安全最優先し原発再稼働を着実に

国内で約2年続いた原発稼働ゼロにも終止符が打たれた。

電力各社は原発が停止した分を天然ガスなど化石燃料の輸入で補い、
(中略)

景気回復の足かせになっている。

温暖化ガスの排出量も震災前より1割近く増えた。

防災対策にゴールはなく、再稼働後も国による不断の支援が欠かせない。

原子力をめぐっては

使用済み核燃料の再処理や、それに伴って生じる

核のごみの最終処分をどう進めるかなど、多くの課題が先送りされてきた。これらに正面から向き合い、再稼働にあわせて具体的な原子力政策を示すときだ。

毎日新聞

2015年8月12日 社説

川内再稼働 原発依存社会に戻すな

住民の**安全確保**に十分な備えがないまま再稼働を急ぐ姿勢は、「事故は起きない」と高をくくってきたかつての安全神話と根が同じではないか。

誰の**責任**で再稼働するのかが明確でない点も3. 1 1前と変わらない。

原発を動かし続ける限り

核のゴミがたまり続けるという問題も大きい。

政府はまず原発ゼロに向けた具体的道筋を描くべきだ。

朝日新聞

2015年8月12日 社説

原発再稼働 川内をひな型にするな

誰の判断と**責任**で再稼働が決まったのか、あいまいだ。

廃棄物の処理や立地のための交付金制度、事故時の賠償金などを積み上げていくと、

原発は「**割に合わない**」電源であり、新しい電力システムの中では成り立たない事業であることが見えてくる。何より、国民の過半数が「原発を使わなくてすむ社会」を望んでいる。

政府がいま取り組むべきは、再稼働を重ねて原発を主軸に戻していくことではない。

東京新聞

2015年8月11日 社説

原発ゼロが終わる日に 誰が責任を負うのか

事故が起こった場合の**責任**は、役所の中では堂々巡り。結局、電力会社の自己責任ということになるのだろう。法律でもそうなっている。だが私たちは、もう知っている。原発事故の責任は、一企業に負いきれるものではないのだと。

特に欧米は、安全対策に膨大な費用がかかる原発への依存を徐々に脱して、再生可能エネルギーの比重を高め、

地域振興を進めつつ、**経済的にも利益**を得ようと、それを機に未来図を描きはじめた。福島のある日本はなぜ、描こうとしないのか。

再稼働に踏み込むということは、回避も全うも不可能な、重過ぎる責任を背負うということだ。国民の多くは納得していない。

南日本新聞

2015年8月12日 社説

川内原発再稼働 なし崩しの「原発回帰」は許されない

最終的な**責任**の所在をあいまいにしたまま、反対の声を押し切って再稼働へ突き進む日本の姿勢は、福島以前と何ら変わっていないように見える。

原発から出る

高レベル放射性廃棄物 (核のごみ) の最終処分問題も解決されていない。

急ぐべきは再稼働ではない。福島の教訓を忘れることなく、原発に依存しない社会への道筋をしっかりと示すことだ。

少しだけ感想を

川内原発再稼働に対する社説比較です。全国紙5紙+東京新聞、そして今回は南日本新聞も。各社論調はいつもの通り。最初の3紙はみんな『原発ゼロに"終止符"』として再稼働大歓迎モードです。赤地は原発推進する側のキーワード、そして青地は原発の持つ大きな問題点のキーワードと私が考えたものです。産経を除いてゴミの問題は共通認識です。問題としては認識されていますが、どう対応するかで二分されます。それ以外の部分、特に赤地のキーワードではそもそもの立ち位置が違うように見えます。このままだとすれ違いっ放し。この辺りのキーワードをぼやっと不安に思っている人にどう訴えかけるかが、今後の大事なポイントのように思います。